

【平成25年度】各会場での主な意見・要望等(平成25年4月1日～3月31日)

6 二見地区

《二見小学校区自治会長》(4/1)

- ・ 今一色の問題はあったが、三交不動産との交渉はどの程度まで進んでいるのか。
- ・ 以前から二見の自治会は問題がないと言ってきた。土地の話了三交不動産としていないのなら、平成 28 年度までの開校は間に合わないのではないか。
- ・ 光の街に学校を建てるのは三津地区としては反対である。もっと近くに建ててほしい。この地区の中心になる茶屋か三津に建ててほしいと思っている。光の街に建てるが進んでいると聞いていたが、光の街には、小学校を建てるだけの土地しかないのではないかと。今後、中学校は、小学校と一緒に場所に建てる方が効率的で良い。
- ・ 今一色の対応はどうなっているのか。反対が強ければ、統合ができないことなのか。行政側から進めざるを得ないこととして進んでいける話なのか。
- ・ 今一色小学校の児童数が一番少ない。基本的には全部反対だと思うが、納得して円満解決が一番いいが、反対でもやるべきことはやってくということなのか。
- ・ 合意形成を得るのは並大抵ではないが、子どもが1学年 10 人少々だとどうなのか。現在、複式学級はあるのか。
- ・ 地域としては、少なくとも良いと言うかもしれないが、子どもの立場になって考えることが大事。
- ・ 廃校の基準はあるのか。
- ・ 今一色でもまちづくりは進んでいる。逆に小学校の統合は難しくなる。両方の関係はイコールにならないといけないのではないかと。
- ・ P T Aと合同で話をする機会があったが、この話は、既に学校の方でも P T Aに話しているのか。その時の状況はどうだったか。豊浜から大湊までやむを得ないということが進んできているとのことだが、今一色には話をしなかったのか。
- ・ 本来は統合すべきといった意見を個々では言う。子どもたちの人数が少ない状況は良くないと思っている人は多くいる。
- ・ 統合した方がいいという話を聞く。教育委員会ももっと強く押していった方がいい。
- ・ 地域性や老人会がなくなるとかではなく、長い目で子どもの将来を見て子どもたちの教育には統合が必要ということを理解してもらうよう教育委員会としても強く話をしていった方がいいのではないかと。
- ・ これだけ人数が減ってきているので、感情論だけでなく理由は何か、反対していかないといけないといった雰囲気があるのでは。
- ・ 小さな子どもたちを抱えている保護者や小学校の保護者に教育はこういったことが大事という話をすれば、他の地域から来たお母さんもいるので、意見は言いたいと思う。
- ・ 次に小学校に入る保育園の保護者に理解してもらうべきである。
- ・ 実際に今一色に足を運んで行って、何らかの方法で進めていかないと進まない。

- ・ 新聞がなぜ反対の署名のことを取り上げたか理解ができない。何のためになるか、本当に子どもたちのことを考えているのかと思う。若い子どもを持っている方たちに何が大事かを説得していかないといけない。
- ・ 色々な団体と一度に話をしてはいけないので、個々に相談をしていくべきである。
- ・ 東大淀は PTA が先頭になって反対しているのか。
- ・ 今一色はどこが反対しているのか。団体によって多少の差があるのか。
- ・ 統合に向けてのスケジュールとか場所や規模などプランはできているのか。
- ・ 行政が統合を決めている、と強烈に進めていけばよいのではないか。むしろ、決まっていることなので賛成してほしいと進める方が良い。
- ・ 統合して子どもの命の保障もできるので、そういったことも話をしていくべき。
- ・ 二見小学校区の区長は、今一色小も統合を早くしようと言っていたと伝えてほしい。
- ・ 光の街で、実際には話がどこまで進んでいるのか。
- ・ 土地の交渉は秘密にする必要はないのではないか。逆にそういった想定も出して前に進めるのが当たりまえではないのか。
- ・ 二見には 10 地区あり、溝口や茶屋には学校がないが、地区が崩壊することはない。
- ・ 今一色にも頻繁に説明をしているのか。
- ・ 用地が決まっていないのに、平成 28 年度まで統合ができる訳がない。早く今一色も説明を始めないといけない。遅いのではないか。
- ・ 強行に進めていくことはできないのか。いつまでも平行線のままである。
- ・ 早く光の街に校舎を建てていただきたい。今は避難場所が五峰山となっている。雨が降ったらどうするのか、避難する場所がない。先に校舎を建てたら人はついてくる、といった意見が出ている。行政が決めたらやるといった強い意志で進めていただきたい。安心・安全な施設を建ててほしい。
- ・ 子どもの目線で保護者が考えられるように情報を流して、読んでもらえるようにしたら良い。間違った理解が後々大変なことになってはいけない。正しいことは正しいと伝えていかないといけない。
- ・ 保育園と小学校を切り離して話をするのではなく、保育園も一緒に移設を考えてもらいたい。

《五峰保育園保護者》(6/27)

- ・ 通学時のバスの支援は、どの辺りまでが対象となるのか。
- ・ 統合の時期は、何年頃になるのか。
- ・ 二見小・今一色小の統合はどういった点が難しいため進捗していないのか。
- ・ 二見小は統合に反対しているのか。
- ・ 小さい子どもを持つ親としては、命を守るために少しでも早く高台に移転してほしい気持ちがある。二見小だけ先に高台に移転し、その後今一色小と統合する、といった考えはないのか。
- ・ 光の街のどの場所に校舎が建つことになるのか。

《二見小学校保護者》(7/3)

- ・ 昨年から前進した部分はあるのか。
- ・ 第1期は平成24年から平成28年となっているが、この期間に話し合いをするのか。それとも移転を含めての計画か。
- ・ 現在光の街はバス通学だが、光の街に学校が来ると光の街以外はバス通学になるのか。
- ・ なぜバスが全額補助になるのか。
- ・ 今は路線バスを利用しているが、スクールバスとなるのか。
- ・ 校舎は現在の児童数の規模で建てるのか、減っていくの見込んで建てるのか。
- ・ クラス数が多くて学級の人数が少ないほうが良い。
- ・ どの時点で統合に向けて進んでいくのか。
- ・ 説明とは、現保護者に対してか。
- ・ 各区長さんへ説明はしたのか。

《高城保育園保護者》(8/27)

- ・ 児童数が4人になる学年は、複式学級になるのか。
- ・ 何年か前に小学校であった説明会に参加したが、児童数の推移は増えるような推計だったが、今回は減っている。今一色の人は前回のものが間違っていたと言う機会が必要ではないかと言っている。
- ・ 新しい校舎が安全な場所に新築されるならそれにこしたことはない。非常に詳細に計画をしているので、これからの子どもの教育を考えれば反対することはないので進めていただきたい。ただ、この地域は、年寄りも多く、小学校を中心とした地域になっている。まちづくりから考えると廃校になるのは寂しい。
- ・ 学校は子どもたちの教育の場となっている。30人学級なら30人の中で学んだ方が将来の子どものためになる。そのことは子どもたちにとって大事なことだと思う。
- ・ スクールバスを出すなら、今の小学校に集まって登校するといったようにバス停の希望は聞いてくれるのか。
- ・ 歩いて通学するのは小学校だけになる。友達と歩いて通うことや、登下校時の地域の見守りも良いことである。みんなが集まって登校する方が良い。
- ・ 校舎を壊すことになったら防災タワーなどの避難所を建ててくれるのか。みんなが心配している。

《高城まちづくりの会》(9/29)

- ・ 現在、今一色小学校で100人を切るような状態になっている。中学校では、二見小学校といっしょになるが、生徒の人数が倍以上違っている。中学校に入学しても大人数に負けてしまって馴染めない子もいる。統合するなら早い時期に統合して大人数の中で生活していった方が良いのではないかと思う。

- ・ 自分は今一色小学校を卒業しているが、当時は学年で26人だった。沢山のひと知り合えるにこしたことはないが2クラス以上の人数が必要になる。当時1クラスの中でも孤立する子どももいたし、いじめのようなものもあった。統合して大人数になっても少人数の学校からいけば何処にいても一緒のことだと思う。子どもたちが乗り越えていかないといけない。
- ・ 自分達が学校に行っていた頃は200人くらいの児童がいた。今一色からも50人くらいいたので、今の子どもたちとは違う。仲良くできる子どももあれば、後れてしまう子どももいた。今の規模とは違うので、今の子どものことはわからない。
- ・ 子どもの性格もあるが、現状馴染めない子どももいる。何処にいても同じかもしれないが、平成23年度に教育委員会と話をした時は、そんなことはありえないと思っていたことも実際には中学校でこういうことだったのかと思うことはあった。今一色小は、少人数なので先生自体が手を掛け過ぎている面もあると聞いたことがある。
- ・ 高城保育園のアンケートでは、大きいところで揉まれた方が子どもにとっては良いのではないかと意見が多かった。
- ・ 少人数になって思うことは、高城保育園から今一色小学校に行くのは仲良しのまま行けるので良いが、そこから違う子どもが来る中学校に行く時に少人数の子どもが大人数の学校に行っても乗り越えられる子どもはいいが、乗り越えることができない子どもは自分の意思で何とかしろといわれても親としては不安になる。小学校の先生は子どもの性格もわかっているが、中学校では初めての子どもになるのでそこまではわからない。友達ができず、結果的に在所の子どもだけが仲良しになるだけなので、教育委員会としても少人数校の子どもに対して、どのようにしていくか考えていく必要がある。
- ・ 4人が入学の時(H29)は、学校はどのようなになるのか？
- ・ 伊勢市近隣で複式学級になることはあったのか。
- ・ スポーツ少年団では、現状だと二見小学校からも児童が来ている。小さい頃から練習に来ているので、お互い仲良くなっている。逆にその友達と二見小学校に遊びに行ったりもしている。今の段階ではいじめはなく仲良くしている。自分は、昭和61年の時で19名だった。中学に入ると4クラスになったため、女の子8人いたが、クラス分けの状況によっては男だけのクラスになったり、女の子がクラスで1人になったりする場合があった。そういったことがあったので、統廃合は賛成だが、低学年の時はみんなと仲良くしゃべったりしているが、高学年になると子どもも成長しているので、プライドも出てくる。
- ・ 数値的にはどんどん子どもの数が減っていくので統合せざるを得ないところに差し掛かっている。それぞれに色々な思いがある。保育園、小学校、中学校と色々な考え方がある。我々は、どんな形で統合へ踏み切ったらよいのか。統合へのもって行き方が、人数がこれだけになったので統合しなさい、となるのかあるいは、もっと他の意見も聞いてくれ、存続にかかわる問題なので大きなものになっていく。最終的には、どういう形で統合に踏み切っていくのか、いずれにせよお互いがすっきりした形で統合するといった形を求めていくことが難しい。統廃合による地域の沢山ある問題をクリアしていく必要もある。人数的に見たら統合せざるを得ない方向に向きつつある。保護者は早く統合してほしいと願っているが、地域はまちおこしで逆の方向になってしまっは大問題である。反対なら取り残されるということも懸念される。区の行事も遠距離通学の問題や、放課後のスポーツ少年団の活動のため送迎が必要になる、急な場合は送迎など親の負担も出てくる。色々な意見を集約して、後からしまったとにならないようにしたい。今後は時期を逃すと統合ではなく吸収されてしまう。また、今一色にはこれまで培われてきた伝統文化や歴史があるのでなんとかして残していかないとまちづくりに繋がらない。どういった方法をとればベターなのかというところがある。

- 平成 23 年度に話を聞いた時は、とても受け入れることができない内容だった。当時は、人数が減っていかないのに、適正規模に該当しないということでの統廃合だった。震災後、高台にということで話の内容が変わってきた。当時は、小学校のPTA役員として教育上特に問題を感じなかったし、到底、PTAとして判断できる内容ではなかった。行政主導で路線が引かれているような状況の中で、意見が言える、その意見が反映されるような状況ではなかった。今回新たに児童数の推移が出てきたので、その数字は受け止めざるを得ないと思っている。ただ、これから作り上げていくのは、我々みんなが作り上げていくものだと思う。場所、時期、方法などは行政が考えるものであって、地域の人や保護者がどのようにしていきたいのか、どういうようにしていったら不安が消えるのか、また、保護者のそのような意見を地域の人やバックアップしていく、今後そのような流れで作り上げていくようにしていきたい。また、今回は、地域のまちづくりの組織として各団体や保護者からの意見をいただいて、それをバックアップして良いものを作っていきたい。前回とは違う良い流れだと思う。老人会としても今までの運動会が無くなっていく事も話をしていく必要もある。地域の人やほとんどの子どもたちの顔を知っている。子どもたちの安全を守るには、地域の人に見守ってもらわないといけないというのも現状である。地域と子どもは一体化している。みんなで作り上げて良い方向にもっていくことが大事である。統廃合するかどうかではなく、まず、自分たちで考えて、自分たちで計画をする、そして良い方向へ向けて作り上げて行く。その後、行政でバックアップをしてもらうことでスムーズに進むと思われる。
- 我々は、自分たちの地域で発生してくる問題点をいかに行政と調整していくか、みらい委員会でどうしていくかを考えておかないといけない。
- 息子が結婚した際に家を建てる予定をしていたが、このまま学校が統合されなかった場合は、将来少人数の学校に通学しないといけないという不安があったので、家を建てるのをやめて別の地域に住むことになった。そういう現実があるのも事実である。このように思っている人が多いのなら、学校があるので家を建てたいというのなら良いが、学校があることで少人数になるのが心配でよその地域へ住むというのは本末転倒になる。
- 今一色小学校をなくすのではなく、なんとか今一色小学校を残していける方法も考えてもらいたい。どちらかへ合併するのではなく、二見町の中で今一色小学校も残していける方法もあるのではないか。
- 今一色小学校と二見小学校の統合の話だが、場所は二見小学校になるのか。また、校名は変わるのか。
- 少子化の心配をしていたが、急激には減っていないのでそうあわてる問題ではない。
- 小学校入学時に、学年で女の子が1人となるお母さんは心配をしている。低学年の時はいいが、高学年になるとどうなるのかと心配である。できるだけ早く統合をしてほしいと思っているが、5年程先になるのか。
- 浸水地域に高層化した校舎を建てるのは可能なのか。
- 保育園の保護者にも考えてほしいが、防災面を考えれば中学校が沿岸部にある。今は小学校の話だが、中学校や保育園はどうするかといった問題が出てくる。そういったもう一歩先のことも視野に入れて考えてほしい。
- 二見中学校はそのままなのか。
- どういった学校のモデル例があるか見学などの企画をしてはどうか。また、教育委員会にも協力をお願いしたい。
- 今日は少子化問題が議題ではなかったのか。いつの間にか統廃合の問題にすり替わっている。

《高城保育園保護者》(11/27)

- ・ 前は行政側が進めていくと言っていた。まちづくりの会では区民の意見を聞きながら進めていくと言っていた。言っていることが違うのではないか。
- ・ まちづくりの会での話を聞いていても小規模のメリットの話が多く、デメリットの方が少なかった。小規模の学校での“もっとダイナミックな教育や活動が出来たかも”とはどういったものか、具体的な内容を聞かせてほしい。
- ・ 二見小では保護者が少人数学級にしてほしいと学校に要望を出したと聞いている。今の二見小でも小規模の要望がある中で、統合すればさらに人数が増えるのではないか。
- ・ 少人数化の要望をして丁寧な対応をお願いしても定員の関係で難しい場合があるということか。
- ・ 二見小学校区では学校の地区懇談の時でも地区によって保護者の温度差があると聞いている。今一色小学校は保護者や先生との連携も密で上手くいっている。
- ・ 二見地区では、バス代など保護者が一部負担しているのではないか。
- ・ 統合の決定は何をもって決定とするのか。スケジュールで平成28年9月を過ぎると市として苦しくなるとあったが市としては何が苦しくなるのか。
- ・ 用地交渉も含めて市の方で準備を進めているのか。統合を決定し予算がついたとしても、買収できる保証はないのではないか。
- ・ 市が出せるお金では売らないということが想定される。ある程度話を進めておく必要があるのではないか。
- ・ 昨年度は今一色地区での説明会はなく、老人福祉センターでの二見町全体での説明会のみだった。今年度の説明会は今一色地区だけなのか。二見地区全体でも説明会を行うのか。
- ・ 二見地区での説明会の状況はどうだったか。
- ・ スケジュールでいうと平成28年度中に統合を決定する場合までが限度となるのか。
- ・ 地域の方への説明会が少ないように思う。もっと説明会の回数を増やし、話し合いの機会をもってほしい。
- ・ 統合に賛成である。統合の話が出た時から早くしてほしいと思っている。そういう方も今一色地区の中にいると思っている。何をもち今一色地区が合意したとするのか。
- ・ 基本的には、反対意見があったら統合しないのか。反対意見は言いやすいが、賛成意見は言いにくい。自分も今一色小学校の出身なので、今一色小学校の良い面悪い面を経験している。今一色小学校の良い面も理解するが、できないこともあるし、中学校で二見小学校と一緒にすると世間はこんなに広いのかとショックを受けた。子どもには1年でも早く広い世界を見てほしいという気持ちがある。世代によっても意見が違うので色々な方に説明をしてほしい。
- ・ 以前開催された地域の説明会は参加しなかった。保育園に子どもが入園するようになって、今回のように説明を聞く機会ができた。今一色小学校が統合すれば、現在の校舎を直ぐに壊さず、仮に将来取り壊すことになっても別の避難施設の設置を考えていることがわかった。説明を聞いて色々なことがわかってきた。ただ、地域での説明会は夜間が多い。夜は行けないので、昼と夜と開催してもらえるともっと参加できる方が増えると思う。

- ・ 最初は反対と思ったが、仕方がないと思ってきた。説明会の回数を重ねると考えも変わってくると思う。
- ・ 統合することが決まり、校舎の建設などで何年後か先に統合となる場合、事前に二見小学校に通学することはできるのか。